

インフォームド・コンセントを受けない場合の研究内容の公表用基本フォーマット

情報公開の方法 ■以下のURLで公開する □倫理委員会のホームページで公開を希望

URL <http://www.med.osaka-cu.ac.jp/orthoped/>

承認番号	4131
研究課題名	脊柱管狭窄症における黄色靭帯肥厚メカニズムの解析
研究の意義・目的	脊柱管狭窄症は主に黄色靭帯の肥厚と椎間板の変性により脊髄や馬尾が圧迫され、脊髄・神経症状を引き起こす疾患である。高齢化社会に伴って罹患患者が増加しており、高齢者の運動器症候群を引き起こす重要な疾患である。脊柱管狭窄症の主原因である黄色靭帯の肥厚に関する研究の報告は極めて少ない。肥厚黄色靭帯では弾性線維の減少と、膠原線維の増加が生じているとの報告が散見されるのみで、黄色靭帯の変性・肥厚のメカニズムは解明されていない。また脊柱管狭窄症の治療は疼痛に対する対症療法や手術による黄色靭帯の切除などが行われるが、圧迫の主要な要素であるにもかかわらず黄色靭帯肥厚の進行予防といった治療方法は無い。手術の際に切除される（通常破棄されるもの）黄色靭帯を組織学的にまた臨床上的での検査所見と併せて詳細に検討し、黄色靭帯肥厚のメカニズムが解明されればこの様な治療法の開発も将来的に可能になると考えられる。
研究期間	承認後 ～ 2030年3月31日
研究対象者の範囲	平成25(2013)年1月1日～平成40(2028)年3月31日に大阪市立大学医学部附属病院、西宮渡辺病院、しまだ病院の整形外科で、脊椎疾患の治療のため手術を受けた患者さまが対象です。
利用又は提供する試料・情報の項目	診療記録、血液検査、Xp, CT, MRIなどの画像検査、手術時に得られた黄色靭帯
利用者の範囲	<input checked="" type="checkbox"/> 自施設のみ <input type="checkbox"/> 共同研究機関に試料・情報を提供する <input checked="" type="checkbox"/> 共同研究機関から試料・情報の提供を受ける <input type="checkbox"/> 自施設が共同研究の代表施設である <input type="checkbox"/> 他施設が共同研究の代表施設である <input checked="" type="checkbox"/> 研究成果を公表する
研究機関の情報	大阪市立大学大学院医学研究科整形外科学講座 講師 鈴木 亨暢 大阪市立大学大学院医学研究科整形外科学講座 准教授 寺井 秀富 医療法人はあとふる 運動器ケア しまだ病院 玉井 孝司 西宮渡辺病院 大山 翔一郎
代表施設のURL	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/orthoped/
研究成果を公表する方法	学会発表、医学論文
試料・情報の提供方法	匿名化を行った状態で試料・情報を提供する
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	大阪市立大学大学院医学研究科整形外科学講座 講師 氏名：鈴木 亨暢
拒否機会の保障	本研究の対象者の方は、問い合わせ先に連絡することによっていつでも本研究への参加を拒否することができます。また、研究への参加を拒否されても、診療に関する不利益等を受けることは一切ありません。
拒否を受け付ける方法	※下記までその旨をご連絡ください（郵便、メール、電話、FAXいずれも可） 大阪市立大学 整形外科 鈴木 亨暢 E-mail : a-suzuki@msic.med.osaka-cu.ac.jp 住所： 大阪市阿倍野区旭町1-4-3 電話番号：06-6645-3851、FAX：06-6646-6260